

# (東京学芸大学) 辟擁会 (長野県支部) 通信 NO1

飯田市立追手町小学校の曾我佳伸と申します。昭和 61 年度に東京学芸大学を卒業しております。

## この度、東京学芸大学 辟擁会

長野県支部会が立ち上がりました。私はよくわかっていなかったのですが、多くの県で東京学芸大学を卒業した仲間が集う支部会が立ち上がっているようです。確かに、卒業後に長野県内における東京学芸大学卒業生との関わりは、私はなかったです。皆さんはいかがだったでしょうか？ 今回の設立支部総会にて、初めて「私は東京学芸大学卒業生です」と語る皆様と接することができ、「自分を一回り成長させてくれた東京学芸大学、そして自分が教師となるきっかけつくれた東京学芸大学」に改めて感謝の気持ちを深めるとともに、出会った仲間と大学時代の思い出話に花を咲かせる心地良さを味わうことができました。この思いをこれから多くの皆さんと共有したいです。この辟擁会長野県支部会を皆さんで盛り上げていきましょう。この立ち上げには、事務局の新海健一郎先生、木下雅夫先生、平沢恵子先生の3名にお骨折りいただきました。感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(会長より)

辟擁会東京学芸長野県支部総会を令和 5 年(2023 年)12 月 3 日(日)に行い長年望んでいました長野県支部を当初事務局 3 人で立ち上げ設立の運びとなりました。何回も打ち合わせを密に行い、兎も角、知り合いの先生方に声をかけ今回、12 月 3 日(日)に設立総会を開くことが出来ました。協力してくれた先生方本当にありがとうございました。当日は 12 名の学校関係の職員が長野県各地区より遠いところ参加して頂き本当にありがとうございました。会が始まると事務局の説明、趣旨、自己紹介等々多少緊張がありましたが、祝宴に入ると学芸大学時代の思い出話に花が咲き、国分寺駅の飲み屋の店の名前まで出たりして、色々と話が盛り上がり、大きな声、笑い声等々本当に賑やかで充実した時間を過ごしました。同じ門をくぐった仲間、そしてその後の生きるエネルギーを授けてくれた生みの親が東京学芸大学であることは参加者全員の共通点であったことと思います。最後に全員一言ずつ言葉を頂き、来年も全員参加しようとして誓い全員ガッツポーズで写真をとって解散となりました。参加(会員名簿裏面)の皆様本当にありがとうございました。また来年会いましょう!!! 来年、2024 年第二回辟擁会は時期を見て連絡します。(2023. 12 月、事務局より)

